

ここが聞きたい!

# いっぱん

塔村俊介 議員

## 集落の維持活性化へ 未来ビジョンの策定を

**町長** ぜひ必要だと思う



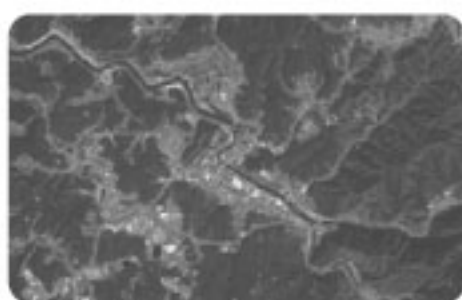
**問** 本年は景気上向きのニュースが多かったが、奥出雲町ではまだ実感が無い。人口減等の将来への不安が原因の一つではないか。奥出雲で良い暮らしを生産できるということを示さなければならぬ。

集落維持、活性化への具体策について、町の総合計画では、自然ゾーン、市街地といったゾーニングの計画は作られているが、各集落単位（公民館単位）での詳細な計画はない。潜在能力を生かし、発揮するためには集落ごとの未来ビジョンの策定が必要ではないか。

**答** ぜひ必要だと思う。地域全体をどうやっていくか、小さな自治会の合

併も含めて、農業に限らず、未来ビジョンは必要である。

**問** 集落ごとの政策プランコンテストを開き、事業に対する支援の考えは、農業だけでなく、日常生活、高齢者の買い物支援をどうする、医療・福祉への集落あげて取り組みに対しての支援は、自治会会長などで話題にしながらか議論していきたい。



公民館集落ごとの未来ビジョンが必要（三成地区航空写真）

**問** 三沢幼稚園計画についての今の考えは、

**答** 若月子育て支援課長 開園推進委員会が設立され、保護者等と意見交換を行っている。今年度中に設計、H26年度に改修

工事を行い、H27年4月に開園予定である。

**問** 集落維持のために教育施設が必要だという考えはわかるが、「幼児期からずっと少人数で子どもを育てていいのか、子どもが多いところで育てたい」というような本音を言えない保護者の方もいる。三沢に帰ってくる人を減らしては元も子もない。もう少し腹を割って議論してほしい。

将来にわたり、生涯奥出雲で暮らせる医療、介護について、まず、町内で生涯を過ごせる体制を整えなければならぬ。

また、町内での介護対象者が横ばいである中、施設を建てる際は、行政が関与するが、対象者が減るときは経営努力、経営競争をして何とか乗り切ってくださいというスタンスだ。一方で、都会では、施設が相当数足りない状況になってくる。町出身者等を積極的に受け入れる考えは、

**答** 故郷への思いが強い

方が多い。本人の思いが一番大切にしながら、具文化へ向けて検討していかなければならない。大変重要な提案であると思う。

**問** 医師確保策において、近年の町出身者の医学部入学状況は、

**答** 島大の医学部に2人いるが、合格者はここ最近は出ていない。

**問** 医学部進学には私大なら約3千万円と多額な費用がかかる。私大の医学部も含めて、医学生養成支援の考えは、

**答** 他市町村でも支援を行っているところが出てきている。実情を踏まえ、支援の必要性があれば、具体的に検討する。

**問** 支えあう文化を作っていくため、骨髄移植の際に、ドナーや事業者を支援する制度の考えは、

**答** まだ設けていないが、助成制度は必要かと思っている。患者数や希望する提供者の実態を把握しながら支援策を検討していきたい。